

8 外国語

「英語表現Ⅰ」	単位数	2 単位
	学科・学年・学級	海洋科学科 第3学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	1 与えられた話題について、即興で話す。また聞き手や目的に応じて簡潔に話す 2 読み手や目的に応じて、簡潔に書く。 3 聞いたり、読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどをまとめ、発表する。
使用教科書・副教材等	SELECT English Expression I

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

学 期	学 習 内 容	月	学 習 の ね ら い	備 考 (学習活動の特記事項、他教科・総合的な学習の時間・特別活動等との関連など)	考 査 範 囲
第 1 学 期	Let's Start Lesson 1 自己紹介—あいさつ Lesson 2 宇宙で食事—世界の食文化 Lesson 3 世界へ羽ばたけ！スポーツ 英会話集，単語	4 5	アルファベット，品詞，語順 現在形：be動詞/一般動詞 ・自己紹介，あいさつの違いなど様々な文化や習慣の違いを認識させる。 過去形：be動詞/一般動詞 ・過去の出来事について書いたり話したりする ・伝統料理から宇宙食など様々な食文化の認識 進行形：現在進行形/過去進行形 ・過去のある一時点でしていた事について書いたり話したりする ・スポーツの種類やスポーツ選手を認識する	「自分の趣味や興味があること」について書いたり話したりする表現に親しませる。	第一学期中間考査
	Lesson 4 エーゲ海の島へ—旅行 Speaking Station 1 Daily Conversation 1 「買い物」をする時の表現 Lesson 5 アイドル—芸能 Lesson 6 祭りだ祭りだ！ 日本文化 英会話集	6 7	未来表現：will/ be going to ・今年の夏にする予定について書いたり話したりする ・旅行先として有名な各国の名所等について認識する ・世界の発明品の名称を認識し，暮らしとの関わりを考える ・特有の場面で使用される日常会話表現に慣れる 現在完了①：継続/経験 ・「今までの経験，およびその回数」について書いたり話したりする ・アイドル，芸能について認識する 現在完了②：完了/ 現在完了進行形 ・「過去のある地点から現在まで継続していること，およびその期間」について書いたり話したりする表現に親しむ	Show and Tell など基本的なスピーチを行う。テーマに沿って自分の考えを発表することに慣れる	第一学期期末考査
【課題・提出物等】 1 Let's Start～Lesson 6 のプリントを復習に使う。 2 Let's Start ～Lesson 6 までの課題を期末考査前までに提出する。					
	Speaking Station 2 目指せプロフェッショナル！ Job Search	9	・職業について考える ・発表に必要な表現およびスピーチの流れを理解する		

第 学 期	<p>Daily Conversation 2 「レストラン」での表現</p> <p>Lesson 9 沖縄美ら海水族館—生き物</p> <p>Lesson 10 未来を切り拓く—生き方</p> <p>英会話集</p>	10	<p>・特有の場面で使用される日常会話表現に慣れる</p> <p>不定詞①副詞的用法/名詞的用法</p> <p>・様々な生き物について認識する</p> <p>・「自分の夢やなりたい職業」について書いたり話したりする表現に親しむ</p> <p>不定詞②形容詞的用法/It～(for)to...</p> <p>・様々な生き方を知ること自分の生き方や社会との関わりを考える</p> <p>・「現在していること、および何の為にそれをする必要があるのか」について書いたり話したりする表現に親しむ</p>	<p>ペアワークなどを行う。</p> <p>Short Speech 「自分の夢」について発表する</p>	第二学期中間考査
	<p>Lesson 11 はやぶさの帰還—自然科学</p> <p>Speaking Station 3 どこが違う？ Finding the Differences</p> <p>Daily conversation 3 「道案内」の表現 Where is the bus stop? 英会話集、単語</p>	11 12	<p>動名詞</p> <p>・自然科学の進歩と可能性を認識する</p> <p>・「友達といつもしていること」について書いて話したりする表現に親しむ</p> <p>・違いや位置関係を説明するなど、物事を描写したり、表現することに慣れる</p> <p>・発表に必要な表現およびスピーチの流れを理解する</p> <p>・行き方を聞く、場所を示す表現に親しむ</p>	<p>Short Speech 位置を表わす。描写する。</p>	第二学期期末考査
<p>【課題・提出物等】</p> <p>1 Lesson 9～Daily Conversation 3 のプリントを復習に使用する。</p> <p>2 Lesson 9 ～ Daily Conversation 3 までの課題を提出する。</p>					
第 3 学 期	<p>Lesson 16 どれが一番？—地理</p> <p>Speaking Station 4 日本文化をPR! Show and tell</p> <p>Speaking station 5 結婚するなら?! The Ideal Person</p> <p>英会話集、単語</p>	1 2 3	<p>比較：比較級/ 最上級</p> <p>・世界の地理について認識する</p> <p>・自分の好きな方を選んで書いたり話したりする表現に親しむ</p> <p>海外で紹介したい日本文化についてかんがえる</p> <p>結婚をテーマに様々な価値観について考える</p> <p>簡単な日常会話を学ぶ</p>	<p>Short Speech 注意を引く。説明する。</p> <p>Short Speech 自分の考えを述べる。結論を言う。</p>	学 年 末 考 査
	<p>【課題・提出物等】</p> <p>1 Lesson 16～Speaking Station3のプリントを復習に使用する。</p> <p>2 Lesson 16～Speaking Station3 までの課題を提出する。</p>				

<p>確かな学力を身に付けるためのアドバイス</p>	<p>・聞くこと及び話すことの音声を中心としたコミュニケーション活動を行う際には、リズムやイントネーションなどに注意しながら、発音することが大切なので間違いを恥ずかしがらずに積極的に何度も練習すること。</p> <p>・繰り返しを求めたり、言い換えたりするときなどに必要となる表現を覚えて、コミュニケーション活動に積極的に取り組むこと。</p> <p>・ジェスチャーなどの文化的な違いが、言語の違い以上に大きな意味をもつことが</p>
----------------------------	---

	あるので、文化的な違いに配慮しながら、活用できるように努めることが大切である。
授業を受けるに当たって守ってほしい事項	<ul style="list-style-type: none"> ・授業はチャイムと同時に始めるので、教材・教具を準備し、着席を完了しておくこと。 ・欠席した場合は、その分のノートを級友から借りて写させてもらうことやどんな言語活動を行ったか聞いておくことが大切である。

(2) 評価の観点、内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	・コミュニケーションに関心を持ち、英語を聞いたり話したりして積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているか。	・学習活動への参加の仕方や態度
表現の能力	・日常生活の身近な話題について、情報や考えなど伝えたいことを英語で話したり、発表したりして表現しているか。	・授業の中で使用するプリント ・発表（スピーチ・ライティング）の内容や仕方
理解の能力	・日常生活の身近な話題について、比較的平易な英語を聞いて、情報や考えなど相手が伝えようとすることを理解しているか。	・授業の中で使用するプリント ・発表の内容や仕方
知識・理解	・日常生活の身近な話題についての英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解しているか。	・発表（スピーチ・ライティング）の内容

【評価方法】

- (1) 1・2学期の中間テストの成績は、考査の点数を成績とする。
- (2) 1・2学期の学期末の成績は、中間と期末の考査を70%、平常点30%の割合で総合的に評価する。
- (3) 学年末の成績は1・2・3学期の成績を総合的に評価し、単位修得について決定する。

ただし、

①出席が総授業数の2/3以上あること。

②毎時間の目標を達成するように授業に意欲的に取り組むこと。

③提出物（授業プリント、課題プリント、その他指示されたものなど）を期限までに自分で仕上げ提出すること。

以上の①～③が全て認められなければ、単位は認めない。

【学期末の評価について】

定期考査（英会話集、単語含む）70%

平常点30%（出席・授業態度・課題提出・小テスト・暗唱テスト等）

※平常点の詳細は授業のオリエンテーションの中で説明します。

※授業態度が著しく悪い場合や、課題の未提出、指示に従わない場合は単位を認めない。

3 担当者からのメッセージ

<ul style="list-style-type: none"> ・1年間の学習の中で、次の4つのコミュニケーション活動を通して、実践的なコミュニケーション能力を身に付けることを目指す。 (1)「聞くこと」・・・英語を聞いてその内容を理解するとともに、場面や目的に応じて適切に反応できるようになること。 (2)「対話をする事」・・・関心のあることについて相手に質問したり、相手の質問に答えたりできるようになること。 (3)「話すこと」・・・情報や考えなどを、場面や目的に応じて適切に伝えられるようになること。 (4)「口頭で発表すること」・・・聞いたり読んだりして得た情報や自分の考えなどをまとめ、発表できるようになること。また、発表されたものを理解できるようになること。 ・間違いを恐れずに積極的に授業に参加すること。 ・教科書の英文については、運用できるレベルまで繰り返し練習を行う。 ・分からないことがあれば遠慮なく聞く。ただし考えることをせず、友人にすぐ聞くことは自分の学習には役に立たない。調べることは大切な学習活動なので、自分で調べれば分かるようなことは、極力自分で調べること。
